

これからの学校施設整備

第4回 活力ある学校づくり
検討委員会
資料 1-1

1 長野市の公共施設についてー公共施設マネジメントー

公共施設の現況（平成25年4月現在）

	長野市全体	学校
延床面積	約154万㎡	約51.6万㎡

公共施設の33.5%が学校

出典：長野市公共施設白書

長野市の展望

○人口推計

	平成12年	平成52年
人口	約38.8万人	約30.2万人
高齢化率	約25%	約38%

○建物の改修・更新費用の試算

- ・ 今後40年間に必要な改修更新費用＝5,858億円
- ・ 1年当たり146.5億円
⇒ 直近5年の施設投資の1.8倍

公共施設を現況のまま維持できない

公共施設マネジメントの4つの基本方針

- (1) 施設総量の縮減と適正配置の実現
- (2) 計画的な保全による長寿命化
- (3) 効果的・効率的な管理運営と資産活用
- (4) 全庁的な公共施設マネジメントの推進

2 学校施設整備に係る文部科学省の動向

全国的な状況

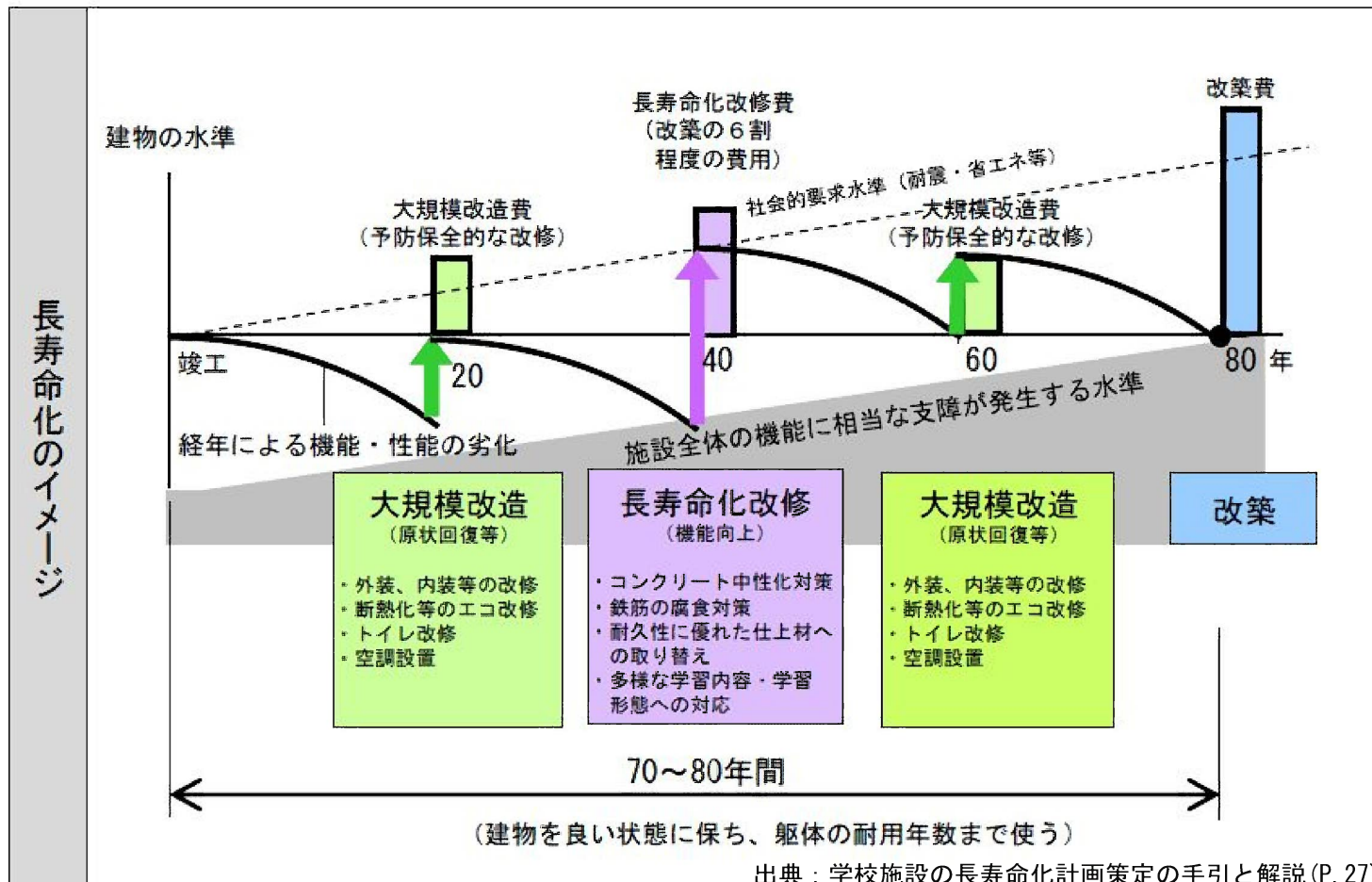
- 学校施設の7割以上＝築25年以上
- 厳しさを増す財政状況

施設整備方法の方向転換

過去＝改築（鉄筋コンクリート造で全国平均42年）
今後＝予防保全改修＋長寿命化改修の推進

各市町村の義務

学校施設の長寿命化計画を平成32年度までに策定



4 長野市の学校施設の今後

学校施設長寿命化計画に基づく計画的な老朽化対策の推進

学校施設長寿命化計画（案）	
計画策定年度	平成31年度
計画期間	10年間、以後定期的に更新
計画内容	・ 老朽化対策等施設整備に関する基本方針 ・ 方針に基づいた施設整備順

建築基準法に基づく定期点検

- 建物の劣化状況の点検・把握
⇒ 施設整備順の決定に反映

活力ある学校づくり検討委員会

- 今後の学校のあり方に関する答申
⇒ 施設整備の基本方針に反映

参考：今後10年間の改修更新費用の試算

施設整備対象	築26年以上経過し、老朽化対策が施されていない校舎等
対象施設数	158棟
改修更新費用	約400億円